

博物館だより



☎ 0163-85-1411

✉ rishiritownmuseum@town.rishiri.hokkaido.jp

〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志本町 136

5/30 外来種防除会

利尻島は主に溶岩で出来ているために非常に水はけがよく、全体的に湿地や湖沼などの数が少なく、貴重な環境です。種富湿原は島の数少ない湿地の一つで、島内ではここで見られない貴重な湿地性の生物も見られます。しかし、近年では特定外来種であるオオハンゴンソウが侵入してしまい、その環境が崩れつつあります。博物館をはじめとした島民たちによる駆除活動が現在も行われており、その拡大をなんとか食い止めている状況です。オオハンゴン



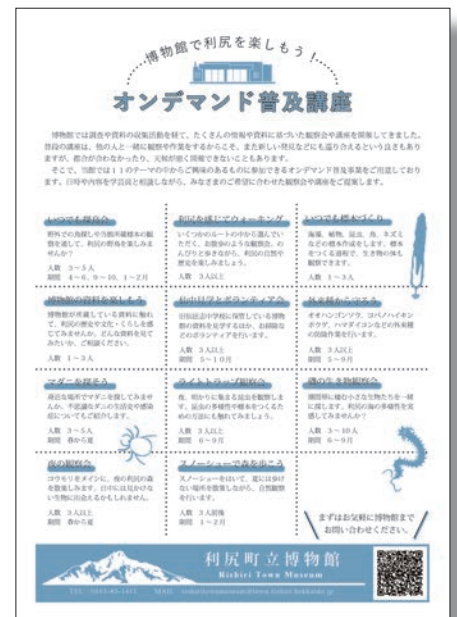
ソウの根絶を目指して、今年も防除会を行います。湿原観察も同時に行いますので、利尻の自然を感じてみたいという方もお気軽にご参加ください。利尻本来の自然環境を守るため、どうか皆様のお力を貸していただけませんか！

【事業名】オオハンゴンソウ防除会
 【日時】5/30（土）9：00～11：00。雨天・悪天の場合は中止いたします。【場所】種富湿原周辺。【集合】種富駐輪駐車公園。【持ち物・服装】作業用軍手または厚めのゴム手袋。水分補給用の飲み物。ヨシ原や砂利など足元が悪い中での作業となり、場所によっては水が染み出す所もありますので、長靴などのしっかりとした靴および服装でお越しください。また、泥が跳ねることもありますので、汚れてもよい服装をおすすめします。【申込】5/28（木）までに、お電話かメールにて、博物館に(1)お名前、(2)前・当日つながる電話番号をお知らせください。定員は先着15名程度を予定しています。

2026 オンデマンド普及事業

「博物館で面白そうな事業やってるけどちょっと予定入っちゃって参

加できない…」と思ったことはありませんか？そんな方のため、博物館では参加者のご都合に合わせた少人数向けの観察会などを行う「オンデマンド普及事業」を2024年からはじめました。昨年度も行っていった探鳥会や仙中見学など7つの事業に、磯の観察会やライトトラップ観察会など4つの事業を新たに加えた合計11の事業の中からお好みのテーマをお選びいただけます。申込時にご希望のテーマと大まかな日程について博物館までご連絡いただき、学芸員との相談のうえ、詳細な日程や場所等を決定いたします。なお、各



↑このポスターが目印です！

くき 今年も群来発生！

ニシンが繁殖のために群れで訪れ海が白く濁る事を「群来(くき)」と呼びます。利尻島における群来は昭和30年頃にはほとんど確認できなくなり、1958年以降はニシン自体の漁獲はあるものの、群れで見られることはなくなりました。ところが、2019年から再び見られるようになり、今年で7年目になります。博物館では、群来の発生に関する記録を残すため、島内での発生状況などを調査しています。今年の群来に関する情報をお持ちの方は、博物館までご一報ください。



↑4/14 蘭泊での様子(利尻町役場提供)

りしりよもやまばなし 利尻四方山話

その4

沓形劇場（旧：大黒座）はかつて沓形（今の「なの花」の並び）にあった映画館です。博物館には沓形劇場の資料が数多く収蔵されており、現在その内のポスター類の整理・撮影を進めています。映画だけでなく、劇団の興行なども行われており、当時利尻において文化の最先端を体験できる場所だったようです。1970年ごろに閉館したと思われていますが、いつまで営業していたかなどの詳細な情報は不明です。詳しい情報をお持ちの方は博物館までご一報ください。

くつがたげきじょう 沓形劇場



事業ごとに大まかな参加人数の目安や開催時期などが決まっていますのでご了承ください。詳しくは博物館ホームページまたは館内のポスターをご覧ください。

事業報告 春の探鳥会

4月29日に沓形の森林公園で春の探鳥会が開催されました。昨年度は春も秋も雨天中止だったので、久しぶりの探鳥会となりました。当日はやや気温は低いものの、風もない曇りで比較的ゆったりと鳥を観察することができました。観察日和だったこともあってか、近年の探鳥会の中では観察種数も多く、鳴き声での記録も含め14種の鳥が確認され



ました。アトリやカシラダカなどの混群が地面に降りて餌を探す様子や目の前でコゲラが木をつつく様子もみられました。後半は仮剥製など標本の観察を行い、利尻で見られるカラ類の標本を見比べながら、似た鳥の見分け方などについて知っていただきました。また、近くで行われていた標識調査の見学も行いました。ちょうどタイミングよくアトリが1羽捕獲され、足輪の装着の様子も間近で見ることができたため、参加者の皆様には普段間近で見ることのできない野鳥をじっくりと観察してもらった機会になったかなと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！

掲示板

資料寄贈 ▼腰間切鞘1点、書籍3点（多氣志樓蝦夷日誌集 第一～第三）、4/20、戸部千春。 ▼重箱1点（仙法志小学校開校七十周年記念品）、4/30、佐孝直美。 ▼書籍（りしりとうとウミネコのおくりもの）1点、4/30、風間麻未。 ▽貴重な資料のご寄贈、まことにありがとうございます。

傷病鳥 ▼チョウゲンボウ、4/12、

沓形、張間静也。 ▼キビタキ、4/22、仙法志、嶋野一輝。 ▼ツグミ、4/28、仙法志、嶋野一輝。 ▽貴重なサンプルのご提供、まことにありがとうございます。いただいたサンプルは今後標本化の予定です。

リイシリの購読・閲覧 博物館のホームページにて、最新号のほか過去2年分のバックナンバーを公開中。発行時に配信する「発行お知らせメール」もありますので、ぜひご利用ください。ネット環境が無い方、メールでの受け取りが出来ない方の場合、利尻町内の方には無料でお配りしているほか、町外の方には郵送料のご負担をいただければ定期購読も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

編集後記 渡りの季節という事もあり、窓ガラスへの野鳥の衝突死が増えてきています。脳しんとうを起こしてしばらく休めば回復する場合はほとんどですが、中にはそのまま命を落としてしまう個体もいます。家の周りなどで死んでいる野鳥を発見した場合は博物館までご連絡ください。ただし、感染症が原因の可能性もあるため、素手では触らないようご注意ください。